

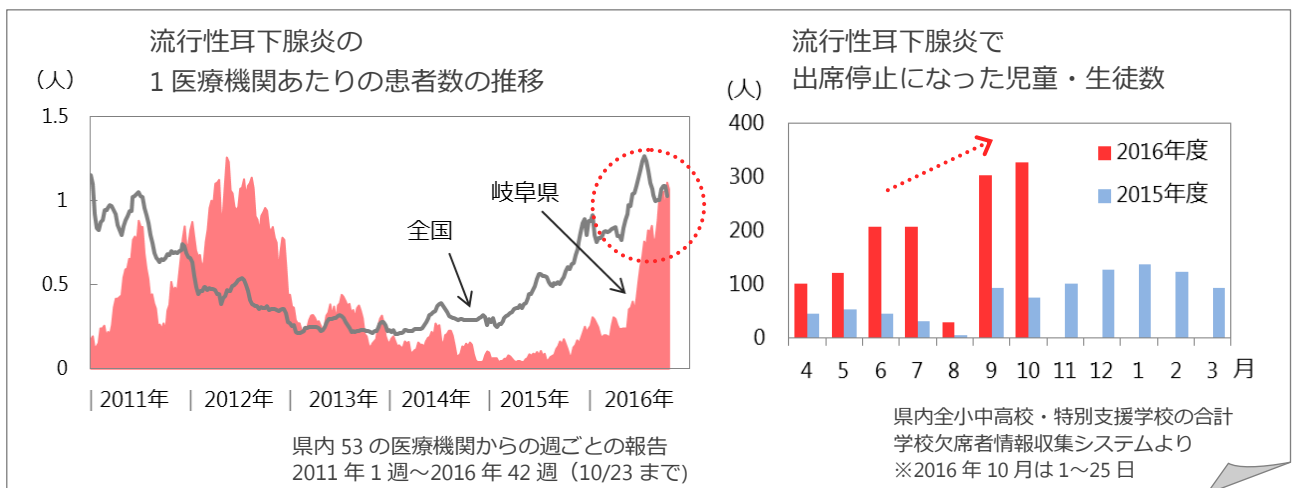
ぎふ感染症かわら版

平成 28 年 10 月 28 日 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）



流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）が流行しています！

県内で、流行性耳下腺炎の患者数が昨年末から増加傾向となり、夏に入って急増し、10月中旬現在、2012年の流行に匹敵する多くの患者が報告されています。学校でも、出席停止となる児童・生徒が増加していますので、今後も注意が必要です。



どんな病気？

ムンプスウイルスによる感染症で、**耳の下が腫れて痛む**ことを特徴とします。感染すると2～3週間後に、**発熱**と、両方または片方の**耳下腺（耳の下にあるだ液腺）の腫れと痛み**などの症状があらわれます。



通常は1～2週間で回復しますが、**無菌性髄膜炎**などの合併症を起こすことがあります。まれに、重い**難聴**を起こし、将来まで障害が続くことがあります。

なお、感染しても症状が出ない人が約3割いるとされています。

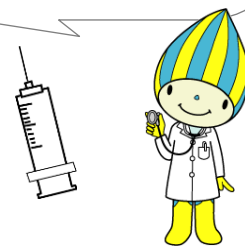
どう感染するの？ 予防方法は？

咳やくしゃみのしぶきによる**飛沫感染**や、患者の唾液で汚れたものを介した**接触感染**により感染します。

感染力が強いため、**ワクチンで予防**するのが効果的です。**任意接種**ですが、1歳から接種することができますので、かかりつけ医とよく相談して、接種することも考えてみましょう。

また、流行時期には、**手洗い**や**咳エチケット**にも一層心がけましょう。

ワクチンは、保育所など集団生活に入る前に接種するのが効果的です。



保育所や幼稚園、高齢者施設など、希望される施設に対して「ぎふ感染症かわら版」のメール配信もおこなっています。くわしくは岐阜県感染症情報センターホームページをご覧ください。

岐阜県感染症情報センター

